記載例：退職等で残額を個人での納税（普通徴収）に切り換える場合

受付印 給与支払報告書 特別徴収] に係る給与所得者異動届出書
 異動（退職・転職・休職等）があった場合は、翌月10日までに必ず提出してください

◎指定番号については特別徴収税額通知から転記してください。

(あて先) 鹿屋市長 年 月 日 提出	給 与 (特 別 徴 収 義 務 者) 者	所在地	〒 893 - 0000 鹿屋市〇〇町1-1										特別徴収義務者 指 定 番 号	107000000			
		フリガナ	カブシキガイシャ 〇〇										担 連	所 属	人事給与係		
		氏名 又は 名称	株式会社 〇〇										当 絡	フリガナ	〇〇 タロウ		
		法 人 番 号 <small>※個人事業主は記載不要</small>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	者 先	氏 名
																電 話	0994-00-0000

給 与 所 得 者	フリガナ	カノヤ イチロウ										(ア)	(イ)	(ウ)	異 動 年 月 日 異 動 の 事 由 異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法		
	氏 名	鹿屋 一郎										特別徴収税額 (年税額)	徴収済税額	未徴収税額 (ア) - (イ)			
	生年月日	昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日															
	個人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	6		10	RO
	受給者番号	1234										9	5	9			
	1月1日 現在の住所	鹿屋市△△町111番地															
異動後の 住所	鹿屋市◎◎町123番地										12,000	4,000 円	8,000 円				

特別徴収税額通知書に記載されている指定番号を御記入ください。

●異動日が翌年1月以降の場合は、原則、一括徴収になります。

●異動事由が『6死亡』の場合は、『3普通徴収へ切替』以外は選択できません。

1. 特別徴収継続の場合

(特 別 徴 収 義 務 者) 者	特別徴収義務者 指 定 番 号	何月分まで給与天引きが済んでいるかを必ず御記入ください。										新しい勤務先へは、月割額 <input type="text"/> 円を	
	所 在 地	〒										月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するよう連絡済みです。	
	フリガナ											受 給 者 番 号	
	氏名 又は 名称											納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	

2. 一括徴収の場合

理 由 右から 番号を 記 入	1. 異動が12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額(上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 <input type="text"/> 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。
	2. 異動が1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	月 日	円	

3. 普通徴収の場合

理 由 右から 番号を 記 入	1. 異動が12月31日までで、一括徴収の申出がないため	過年度分()	現年度分()	翌年度分()
	2. 5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため	既処理 普 徴 〇 円	既処理 普 徴 〇 円	既処理 普 徴 〇 円
	3. 死亡による退職であるため	未申告 課権無 その他	未申告 課権無 その他	未申告 課権無 その他

※市処理欄 未記。訂正箇所については、月 日 相手方確認済み。

◎ 給与の支払いを受けなくなった月の翌月以降の月割額を普通徴収に切り換えて、個人で納税していただくことになります。
 ◎ 退職等される方に、後日、給与から天引きできなかった未徴収税額分の請求があることをご説明ください。